

みんなのサステナ idea

暮らしの中でできる
エコアクションの
アイデアを聞きました！

推薦人→ 編集 TN

野菜やフルーツの皮を、なるべく捨てずに使用。キウイフルーツは皮も食べられると聞いてから、スムージーを作るときにまるごと入れています。皮を剥く手間もなくなってうれしい！

推薦人→ 札幌市職員 AKさん

趣味のランニングには、ドリンクをマイボトルに入れ携帯。粉末タイプのスポーツドリンクから作ることで、家の中にペットボトルを何本も置く必要がないため、収納も省スペースに！

推薦人→ 読者モニター
みっちーさん

冷凍食品はなるべく紙トレーのものを選ぶようにしています。また、量が多く入っていて個別パッケージされてないものを選ぶとオトクだし、ごみも出ないので利用しています。

推薦人→ 読者モニター
モルックさん

不用品をネットのフリマサービスで売ったり、短期間しか使わない子ども用品などは中古品を買ったり、レンタルしたりしています。

推薦人→ 読者モニター
ななさん

ごみをしっかり分別する！子どもたちもしっかり分別する習慣ができました。ごみ袋の節約にもなるし、すごくいいと思います。

環境に配慮した取組がたくさん 2023 さっぽろオータムフェスト



「北海道・札幌の食」をメインテーマに、道内各地から「環境首都・札幌」として、次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市を目指して、環境配慮に関する取組をスタート！

期間 2023 9/8 金～30 土

会場 大通公園西4丁目～8丁目、10丁目、11丁目

使い捨てのプラスチックの削減 全会場

食器類は、使い捨てのプラスチック素材を削減。紙・木材など植物由来の素材か、洗浄して再利用するリターナブル食器を使用する。



※工場で製造された個包装済みの商品は除く

ごみの分別回収 全会場

会場内にごみ回収ブースを設置。スタッフによる分別を行ない、ビン・缶などのリサイクルに取り組む。



スマートコンポスト (生ごみ堆肥化) の導入 4・5・6 丁目



微生物の働きにより短時間で堆肥に変える「スマートコンポスト」を導入。会場内で出た生ごみを堆肥化し、大通公園の花壇に使用する。

使用済み食用油の回収 5・7・8 丁目

会場内の調理で出た使用済み食用油を回収し、燃料や工業用油脂（せっけんなど）にリサイクル。



カーボンオフセットの実施 4 丁目

会場内で使用される電気や紙の印刷などにかかるCO₂排出量を算出し、その量に応じて、環境に配慮した事業を支援する「カーボンオフセット」を利用する。

カーボンオフセットとは？削減しきれないCO₂を温室効果ガス削減・吸収の取組に資金提供することで「埋め合わせる」こと。



マイボトルで気軽にエコライフ

資源を大切にするための第一歩は、使い捨ての容器を減らすこと！マイボトルを持って出かけよう。

札幌市役所1Fロビーに登場！誰でも使える給水スタンド

札幌市では「2050年までに、市内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする」という目標実現のため、マイボトルを携帯するライフスタイルを推進。2023年3月からは札幌市役所1Fロビーに給水スタンドを設置し、無料で水やお湯を汲めるように。

ほかにもある！札幌市の給水スタンド

札幌市役所1Fロビーのほか、札幌市水道局本局庁舎（1F正面玄関横）、円山動物園（動物科学館内）、エルプラザ（2F環境プラザ付近）、さとらんど（さとらんどセンター内）、中島体育センター（1Fロビー内）にも給水スタンドを設置。



誰でも利用できるので、ぜひマイボトルを持って訪れて

もっと、サステナブルで心地よい札幌へ

SDGs
って？

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で、2030年までにサステナブル（持続可能）でよりよい世界を目指す国際目標。



詳しくはこちら！



※山本処理場：全体容量773,2万t/令和3年度末見込残容量69,6万t
山口処理場：全体容量326,4万t/令和3年度末見込残容量35,7万t